公益財団法人久留米文化振興会

2018年度 事業報告書

自　2018年　4月　1日
至　2019年　3月 31日

目　次

	Page
Ⅰ　事業の概要	
（総　括） ……	1
（重点的な取組み） ……	2～3
Ⅱ　事業活動 ……	4
≪公益目的事業≫	
公１　芸術文化施設等の管理運営事業……	5～6
公２　芸術文化振興事業及び地域文化活性化事業……	7～14
公３　美術館運営事業……	15～18
≪収益事業≫ ……	19～20
収１　ホール運営事業及び会場利用者サービス事業	
収２　売店・喫茶事業	
収３　久留米市等公共団体からのイベント受託事業	
収４　久留米市の公共施設の指定管理事業	
収５　駐車場管理運営事業	
≪事務局事業≫ ……	20
Ⅲ　処務の概況 ……	21～22
１．役員に関する事項	
２．会議に関する事項	
３．許可・認可・承認に関する事項	
４．庶務に関する事項	
５．組織に関する事項	
Ⅳ　附属明細書 ……	23

Ⅰ　事業の概要

（総　括）

当財団が管理運営する石橋文化センターは、株式会社ブリヂストンの創業者であり、久留米市名誉市民である石橋正二郎氏が「世の人々の楽しみと幸福の為に」と地域の発展を願い、１９５６年に建設、久留米市に寄贈された文化施設です。

石橋文化センターの中心施設である美術館は、２０１６年１１月に石橋美術館の歴史と活動を引き継ぎ、久留米市美術館として開館しました。同時に、石橋美術館別館は、石橋正二郎記念館としてリニューアルされ、当財団は久留米市が策定した「美術館の基本方針」に基づき指定管理者として運営しています。

２０１８年度も、久留米市美術館開館を機に取り組んでいます「石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動」として、美術館が主催する展覧会を軸に、園内やホールで開催する事業との連携により相互の魅力向上を図りました。

また、「市民と共に創り育てる仕組みづくり」として、２０１７年度にリニューアルした友の会制度を積極的にＰＲし会員獲得に努めるとともに、活動に対する支援を募る事業協賛制度に賛同する企業や団体の拡充を図りました。これらの取り組みにより、石橋文化センター及び久留米市美術館の事業への理解と支援の輪をさらに広げることができました。

石橋文化センター以外の活動としましては、２０１８年４月に久留米シティプラザ内に「石橋文化センター情報サテライト」を開設しました。情報サテライトでは、石橋文化センターや久留米市美術館の情報を発信するとともに、久留米シティプラザで開催される催しのチケットも販売し、市民の利便性向上を図りました。

その他、久留米市庁舎内のくるみホールや会議室の貸し出しを行う「久留米市民交流センター」の指定管理者公募が行われ、２０１９年度から５年間の指定管理者に選定されました。

以上のように、２０１８年度も、石橋文化センター内の各施設における事業を中心としながら芸術文化の振興と地域文化の活性化を図ってまいりました。

（重点的な取組み）

１．新たな美術館の基本方針に基づく事業推進

（１）郷土の歴史をふまえた特徴あるコレクション形成

久留米市の収集方針に基づく作品収集のため、候補作品を久留米市に提案し、特徴あるコレクション形成に寄与しました。

（２）魅力ある展覧会や教育普及活動の展開

公益財団法人石橋財団の特別助成による「名画が奏でる８つのフーガ」の他、１階で開催した「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」など６本の展覧会を実施しました。

また、2018 年 10 月 19 日には、久留米市美術館の来館者が 20 万人を達成しました。

（３）石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動の推進

美術館が主催する展覧会を軸に、園内やホールで開催する事業との連携により相互の魅力向上を図りました。

園内で開催するアートフェスティバルでは、園内全域で創作活動や作品展示を行い、園内全体をアート溢れる空間としました。また、コンサートと展覧会をセットにした「ミュージアムコンサート」では、演奏前の展覧会紹介映像上映や展覧会に因んだ演奏など相互の魅力を高める取り組みも実施し、平日昼間の催事にも関わらず人気を博しました。

（４）市民と共に創り育てる仕組みづくり

①友の会会員の増加

２０１７年度にミュージアム会員（美術館年間フリーパス）を含む制度にリニューアルした友の会は、前年度を上回る会員に入会いただきました。

②協賛制度の取り組み

昨年度から取り組んでいる協賛制度は、「石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動」や園内の環境整備等に資する目的で企業・団体・学校からの支援を募りました。協賛企業や学校に対し久留米市美術館、石橋正二郎記念館の利用を促進しました。

２．石橋正二郎記念館の積極的な活用

企業や団体、学校からの見学を積極的に受け入れるとともに、記念館でのコンサート等も実施しました。また、２０１８年度から新たに記念館クイズを導入し、参加者に記念品の缶バッジをプレゼントする取り組みを始めました。

３．石橋文化センターブランディングの推進

久留米市美術館開館を契機に新たに導入したブランディングを推進し、石橋文化センター全体のブランドイメージを高めるよう努めました。シンボルマーク等の使用のみならず、ブランドの目指す「楽しみと幸福の時間。」を提供していくよう様々な事業を通じて努めました。

４．広報・情報発信の強化

組織を横断した「事業・広報連携プロジェクト」を新たに発足し、美術館展覧会を中心にホールや園内事業との連携を図るとともに、マスコミへの効果的な情報発信を行えるよう定期的に検討しました。

また、おでかけ情報誌などの有料広告では、バラフェアと展覧会をセットで掲載するなど、魅力を高めるよう努めました。

５．久留米シティプラザとの連携

２０１８年４月に久留米シティプラザ内に「石橋文化センター情報サテライト」を開設し、石橋文化センターや久留米市美術館の情報を発信するとともに、久留米シティプラザで開催される催しのチケットも販売し、市民の利便性向上を図りました。

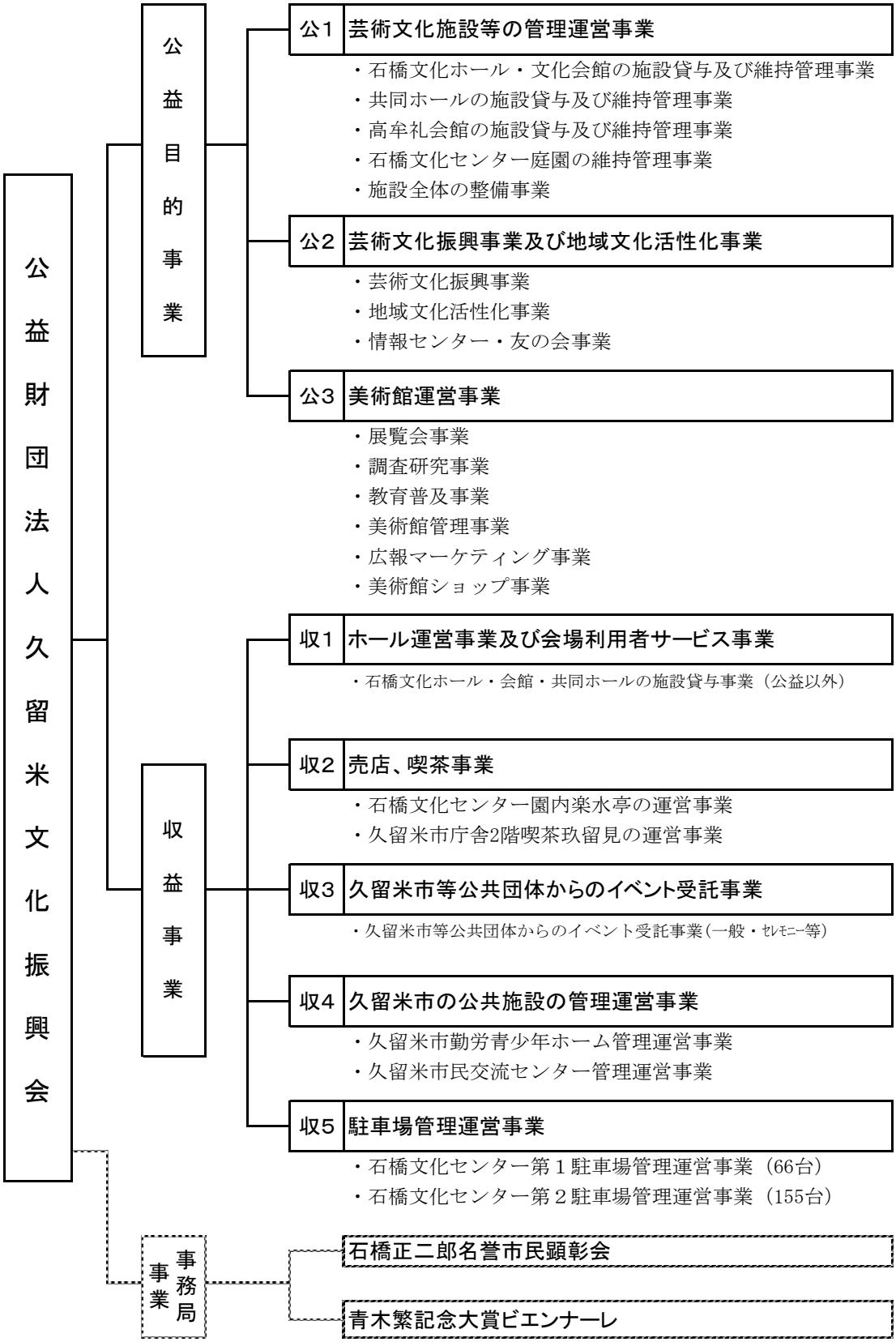
６．組織体制の強化

美術館運営移行に伴う組織統合から３年目となり、更なる一体的な組織運営を推進する目的で、課長級を中心とした運営会議（月２回開催）等を通じ、情報共有と業務の効率化を図りました。

また、美術館を含む施設維持管理を施設課に集約し一元化を図りました。

Ⅱ．事業活動

【公益財団法人久留米文化振興会事業体系】



≪公益目的事業≫

公１	芸術文化施設等の管理運営事業

石橋文化センター諸施設並びに高牟礼会館の施設貸与及び維持管理事業を行うことにより、芸術文化の振興と地域文化の活性化に取り組みました。

公１―Ⅰ　施設の貸与事業

１．石橋文化ホール・文化会館、共同ホール

【施設貸与状況】

施　設			利用可能日数	利用日数	利用率（%）	利用者数（人）
石橋文化ホール		当年度	315	232	73.7	133,120
		前年度	313	227	72.5	108,955
石橋文化会館	小ホール	当年度	315	198	62.9	19,006
		前年度	313	202	64.5	15,322
	会議室・研修室	当年度	1,575	947	60.1	30,260
		前年度	1,565	943	60.3	29,076
	市民ギャラリー	当年度	315	156	49.5	14,251
		前年度	313	148	47.3	5,640
小　計					当年度	196,637
					前年度	158,993
共同ホール		当年度	315	158	50.2	36,806
		前年度	312	172	55.1	35,104
研修棟		当年度	1,890	764	40.4	13,890
		前年度	1,872	801	42.8	14,202
小　計					当年度	50,696
					前年度	49,306
合　計					当年度	247,333
					前年度	208,299

【利用促進事業】

事　　業		実施回数など
ちょっと気軽にスタインウェイ（石橋文化ホール）	当年度	21 回実施　173 人利用
	前年度	23 回実施　173 人利用
ちょっと気軽に団体練習（石橋文化ホール）	当年度	6 回実施　169 人利用
バックステージツアー（石橋文化ホール）	当年度	2 回実施　26 人利用
ちょっと気軽にピアノ発表会（小ホール）	当年度	14 回利用
	前年度	15 回利用
ちょっと気軽にカワイＥＸ（共同ホール）	当年度	24 回　256 人利用
	前年度	24 回　159 人利用

２．高牟礼会館

【施設貸与状況】

年度	件数	利用人数	利用者作品展
当年度	1.959 件	19.456 人	9 回
前年度	2,008 件	18,807 人	9 回

公１―Ⅱ　施設の維持管理

１．庭園管理

（１）石橋文化センター園内整備実施プラン

「石橋文化センター園内整備計画検討会議」にて、石橋文化センター庭園のメインである「バラ園」の整備を中心とした「石橋文化センター園内整備実施プラン」を策定しました。その中で特に、美術館前バラ園を４年間（計４回）かけて植替えることを計画し、その第１回目を実施しました。

（２）園内樹木管理

安全対策として、石橋文化センター外周の道路や河川の上部に張り出している樹木の剪定処理を行いました。また、園内全体の樹木調査を実施し、腐朽などで倒木の恐れがある樹木の伐採を行いました。

２．施設整備事業

石橋文化ホール舞台吊物機構ギヤオイル取替
石橋文化会館１階廊下床部分修繕
共同ホール舞台機構設備精密検査業務
第２駐車場外周フェンス部分修繕

公２	芸術文化振興事業及び地域文化活性化事業

ホールや園内で行う文化事業と美術館事業を連携し、石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた事業を展開し、相乗効果を図りました。

公２―Ⅰ　芸術文化振興事業

１．優れた芸術文化公演等の鑑賞事業

事　業　名	開催日･会場･料金	入場者数
佐藤しのぶソプラノリサイタル ～團伊玖磨の世界～	2018 年 6 月 17 日(日) 石橋文化ホール 2,500 円(学生 1,500 円)	634 人
ドラゴンクエストコンサート すぎやまこういちと九州交響楽団 ～ドラゴンクエストXI 過ぎ去りし時を求めて～	2018 年 8 月 25 日（土） 石橋文化ホール 5,000 円	1,052 人
声優朗読劇 フォアレーゼン（共催事業）	2018 年 10 月 28 日(日) 石橋文化ホール S 席 6,000 円、A 席 5,000 円、B 席 4,000 円	924 人

２．市民の文化活動の支援や地域文化団体の育成事業

事 業 名	開催日･会場･料金	入場者数
第 29 回くるめ新人演奏会 出演：7 人 (ピアノ 2 人、声楽 1 人、器楽 3 人、作曲 1 人)	2018 年 5 月 27 日（日） 石橋文化ホール 1,000 円	145 人
くるめ音楽祭 2018	石橋文化ホール 入場無料（要整理券）	3 部門合計 1,698 人
吹奏楽祭 出演：20 団体（610 人）	2018 年 9 月 23 日（日）	1,118 人
合唱祭 出演：45 団体（1,134 人）	2018 年 9 月 24 日（月・祝）	580 人
アンサンブル・フェスティバル ※台風接近のため中止 出演予定：15 団体（186 人）	2018 年 9 月 30 日（日）	中止
第 47 回市民ブラス・コンサート 2018 ニューイヤー・バンド・フェスティバル	2019 年 1 月 13 日（日） 石橋文化ホール 入場無料（要整理券）	1,296 人

３．石橋文化センターミュージアム化事業

（１）ミュージアムコンサート

地域で活動する演奏家を支援するとともに、市民に優れた演奏を気軽に楽しめる機会を提供するコンサート。コンサートチケットで展覧会も鑑賞。

入場料： 1,000 円、⑩は 500 円（チケット提示で展覧会入館無料）
⑦、⑪は石橋正二郎記念館もしくは本館 2 階の入館料が必要

会　場：石橋文化ホール（⑦、⑪は石橋正二郎記念館）

事業名・開催日・内容			入場者数	うち美術館入館者数
①4 月 26 日（木）※開園記念日・無料	弦楽四重奏		654 人	357 人
②5 月 15 日（火）	童謡・唱歌		342 人	134 人
③6 月 12 日（火）	ピアノ四重奏		496 人	232 人
④7 月 18 日（水）	ヴァイオリン四重奏		413 人	257 人
⑤8 月 12 日（日）	室内楽	①こども向け	272 人	2 階 185 人 1 階 137 人
		②一般	203 人	
⑥9 月 6 日（木）	ジャズ		415 人	186 人
⑦9 月 8 日（土）※石橋正二郎記念館	ヴァイオリン、ピアノ		130 人	―
⑧10 月 12 日（金）	室内楽		427 人	242 人
⑨12 月 5 日（水）	室内楽		396 人	224 人
⑩1 月 22 日（火）	チェロ四重奏		416 人	234 人
⑪2 月 3 日（日）※石橋正二郎記念館	室内楽		70 人	―
	合　計		4,104 人	2,051 人

（２）夏休みこどもミュージアム（ワークショップのみ）

会　場：石橋文化会館 1 階市民ギャラリー

講座名	開催日	参加者数
陶芸	2018 年 7 月 26 日（木）・27 日（金）	58 組
木工	2018 年 8 月 1 日（水）・8 日（水）	19 組
ハーバリウム	2018 年 8 月 2 日（木）・9 日（木）	53 組
	合　計	130 組

（３）石橋文化センターアートフェスティバル

2016 年 11 月の久留米市美術館開館を機に取り組んでいる事業で、今回が 3 回目となります。アーティストと市内の小学生・県内外の芸術系学部の大学生らが集い、夏から創作活動を経て完成したアート作品を園内各所に展示しました。また、夜には作品のライトアップを行いました。

開催日：11 月 3 日（土・祝）～12 月 2 日（日）
会　場：石橋文化センター園内各所
期間中の来園者数：66,677 人

①子どもたちとアーティストによるアート創造プロジェクト
地元アーティストに、市内の小学生、アートサポーターを加えた総勢 32 名が、交流を図りながら、アート作品の創作に取り組みました。８月に４日間にわたるワークショップを実施。「ペリカン」をテーマに、美術館や図書館でイメージを膨らませて、巨大ペリカンと、巨大絵本を制作し、園内に展示しました。
・参加アーティスト　牛嶋 均、オーギ カナエ

②アーティストを志す大学生等の創作活動支援プロジェクト
美術系大学生が、７月から１０月にかけて、合同の意見交換会などを行いながら、大学ごとに特色のある作品を制作し、屋外に展示しました。
・参加大学
九州産業大学芸術学部 工芸専攻 １年生（８名）「久留米の幸」
佐賀大学芸術地域デザイン学部（５名）「はらっぱインスタレーション」

③市民創作体験プロジェクト「水に浮かぶまちを作ろう」
石橋美術館や石橋文化ホールなどを手掛けた久留米市出身の建築家・菊竹清訓氏をテーマに、郷土の偉人の思考や発想に触れながら、大人から子どもまで、楽しみながら創造性を育むワークショップを実施し、アート作品を制作しました。
・参加アーティスト篠崎 竜大

④アートワークショップ
開催日：11 月 3 日（土・祝）、4 日（日）、11 月 17 日（土）、18 日（日）
参加者：合計 149 人

⑤園内ライトアップと光のアート
開催日：期間中の金・土・日 14 日間
入園者：2,256 人

（４）ミュージアムクリスマス

「石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動」として、園内のライトアップとイルミネーションにより、市民に「楽しみと幸福の時間」を提供しました。

また、展覧会の延長開館と無料入館により、美術館に足を運ぶ機会を創出しました。

開催日：12 月 14 日（金）～12 月 24 日（月・振）

会　場：石橋文化センター全域

①ライトアップ＆イルミネーション

開催日：12 月 14 日（金）～12 月 24 日（月・振）金土日祝　17 時～20 時

期間中入園者 1,990 人

②サンダーソンアーカイブ　ウィリアム・モリスと英国の壁紙展

延長開館（19 時まで）及び 17 時以降入館無料

入館者 12 月 23 日（日・祝）　154 人

③ミュージアムコンサート

会場：石橋正二郎記念館 2 階ロビー

時間：13 時～13 時 45 分

開催日	入場者数
12 月 15 日（土）	100 人
12 月 16 日（日）	120 人
12 月 23 日（日・祝）	150 人
12 月 24 日（月・振）	170 人
合　　計	540 人

④ワークショップ

開催日	内　　容	参加者数
12 月 15 日(土) 16 日（日）	① クリスマスツリーを押し花で飾ろう	122 人
	② クリスマスワックスプレート	34 人
	③ クリスマスアレンジ＆オーナメント作り　(16 日のみ)	22 人
12 月 22 日(土) ～24 日(月･振)	① ＵＶレジンで作るストラップ	146 人
	② クリスマスアイシングクッキー	37 人
	③ ガラスのオーナメント、コースター、フォトフレーム作り	48 人
	合計	409 人

⑤メッセージキャンドル（ペリカン噴水周辺）

開催日：12 月 23 日（日・祝）、24 日（月・振）　参加総数 171 人

（５）ミュージアムバレンタイン

バレンタインに合わせて、ミュージアムコンサートや恋木神社特別祈願絵馬所を設置し、展覧会及び石橋正二郎記念館への誘客を図りました。

開催日：2 月 2 日（土）～2 月 14 日（木）

①ミュージアムコンサート

2 月 3 日（日）13 時　石橋正二郎記念館　入場者　70 人

2 月 14 日（水）14 時　石橋文化ホール　　入場者 375 人

②恋木神社特別祈願絵馬所

期間： 2 月 2 日（土）～2 月 14 日（木）

絵馬祈願 279 枚、おみくじ 91 枚

③ワークショップ

開催日：2 月 10 日（日）

・バレンタインケーキボックス作り　　参加人数　16 人

・ペーパークイリングメッセージカード作り　　参加人数　12 人

４．次代を担う世代とともに行う振興事業～未来への種をまく事業～

（１）石橋文化センタースケッチ大会

開催日：4 月 21 日（土）、22（日）

会　場：石橋文化センター園内 他

参加者：こどもスケッチ大会　　692 人（作品提出者）

美術館 1 階イベント　2,094 人（ワークショップ、コンサート等）

ワークシートクイズ　　197 人

読書の日のつどい　　113 人（中央図書館）　合計　延べ 3,096 人

（２）学校への芸術家等派遣事業（久留米市からの受託事業）

学校と芸術家との協働で、子どもが文化芸術体験を通じて学び、表現できる環境を整える目的として、市内の小学校及び特別支援学校でワークショップを実施しました。

ジャンル	学校数	参加生徒数
水墨画	3 校	314 人
美術	1 校	29 人
狂言	7 校	614 人
箏	2 校	123 人
謡曲	2 校	177 人
能楽	1 校	87 人
茶道	1 校	54 人
ダンス	3 校	154 人
演劇	1 校	32 人
合唱	1 校	61 人
和太鼓	1 校	103 人
馬頭琴	8 校	617 人
合計	31 校	2,365 人

（３）久留米市文化芸術コーディネーター養成講座（久留米市からの受託事業）

上記、派遣事業のコーディネーター対象の養成講座を開催

開 催 日： 3 月 17 日（日）

開催場所：石橋文化会館 1 階会議室

講　　師：古賀弥生氏（アートサポートふくおか代表）

受講者数：14 人（コーディネーター4 人／アシスタント 10 人）

公２―Ⅱ地域文化活性化事業

１．石橋文化センター園内の花や美術館を活用した市民参加の事業

（１）７つの花のイベント

石橋文化センターの庭園を活用し、季節を捉えた「７つの花のイベント」を実施。

事　業　名	開　催　日	期間中入園者数（前年度）
①春のバラフェア 2018	4 月 29 日(日･祝)～5 月 20 日(日)	104,271 人(113,330 人)
GW･メインイベント期間	5 月 3 日(木・祝)～6 日(日) 5 月 12 日(土)、13 日(日)	50,719 人(60,439 人)
②あじさい･はなしょうぶまつり	5 月 24 日(木)～6 月 17 日(日)	42,258 人(36,236 人)
③秋のバラフェア 2018	10 月 20 日(土)～11 月 18 日(日)	66,127 人(51,808 人)
④もみじまつり	11 月 17 日(土)～12 月 2 日(日)	33,860 人 (20,898 人)
春の花まつり	2 月 9 日(土)～4 月 7 日(日)	67,519 人(58,972 人)
⑤梅まつり	2 月 9 日(土)～3 月 3 日(日)	29,216 人(25,481 人)
⑥つばきまつり	3 月 9 日(土)～17 日(日)	12,636 人(16,594 人)
⑦SAKURA まつり	3 月 23 日(土)～4 月 7 日(日)	25,667 人(16,897 人)
	合　計	314,035 人（281,244 人）

（２）坂本繁二郎旧アトリエ特別公開

花のイベントに合わせて坂本繁二郎旧アトリエを公開しました。

事　業　名	開　催　日	入場者数
春のバラフェアシリーズ	5 月 5 日(土)、6 日(日)	559 人
あじさい・はなしょうぶまつりシリーズ	6 月 9 日(土)、10 日(日)	209 人
秋のバラフェアシリーズ	11 月 3 日(土)､4 日(日)	661 人
つばきまつりシリーズ	3 月 16 日(土)、17 日(日)	457 人
SAKURA まつりシリーズ	3 月 30 日(土)、31 日(日)	492 人
	合　計	10 日間　2,378 人 （前年度　15 日間　4,081 人）

（３）ガーデンテラスコンサート

美術館運営移行を機に新設したガーデンテラスで気軽な野外コンサートを開催しました。

開　催　日	内　容	入場者数
5 月 26 日 (土)	あじさい･はなしょうぶまつり｢ホタル観賞＆コンサート｣	200 人
9 月 1 日(土)、8 日(土)	ガーデンテラスコンサート(雨天により記念館で開催)	合計 380 人
11 月 17 日(土)、 18 日(日)、23 日(金・祝)	もみじまつり「もみじコンサート」	合計 780 人
		合計 1,360 人

（４）くるめぐるフェスタ

近隣５施設（石橋文化センター、久留米市美術館、福岡県青少年科学館、くるめウス久留米市鳥類センター）で連携し各施設を巡るスタンプラリーを実施していますが、今年度初めて「くるめぐるフェスタ」を開催しました。

開催日：9 月 8 日（土）
会　場：石橋文化センター園内、美術館など
入園者：1,553 人

２．久留米市内の各地域でコンサート等を実施する市民参加の事業

（久留米市からの受託事業）

（１）くるめ街かど音楽祭 2018（第 6 回）

「街に音楽があふれる」という基本コンセプトを掲げ、プロ・アマのミュージシャンが 2 日間にわたり、市内中心部の 10 会場で演奏を繰り広げました。

開催日： 10 月 20 日（土）、21 日（日）　時間は 10 時～17 時（会場により異なる）
会　場：両替町公園メインステージ、久留米シティプラザ六角堂広場・C ボックス
JR 久留米駅東西自由通路、西鉄久留米駅東口広場、一番街プラザ
坂本繁二郎生家、青木繁旧居、真教寺、千栄禅寺（全 10 会場）
来場者：延べ 14,000 人（出演者：延べ 119 組）

（２）くるめライブチャレンジ 2018

音楽分野における人材発掘・育成支援のため、全国から出演者を募集し、4 回に分けて無料ライブを開催しました。

開催日：7 月 16 日（月・祝）、8 月 12 日（日）、11 月 11 日（木・祝）、12 月 16 日（日）
※9 月 30 日（日）は台風接近による中止
時　間：16 時 30 分～19 時 50 分
会　場：久留米シティプラザ（C ボックス・六角堂広場）
出演者：全 40 組（応募者 83 組）各回出演者は 10 組
入場者：全 2,090 人

（３）くるめライブチャレンジ 2018　ベストパフォーマー大会

全 4 回開催のライブチャレンジ各回で選出されたベストパフォーマーが出場し、“ベスト・オブ・ベスト”を競い合うコンテスト『ベストパフォーマー大会』を開催。

日　時： 2 月 24 日（日）15 時～18 時
会　場：久留米シティプラザ C ボックス
出演者：8 組
ベスト・オブ・ベストパフォーマー賞（最優秀賞）：MOJIBAKE

（４）くるめライブチャレンジ　ベスト・オブ・ベストパフォーマー・ワンマンライブ

2017 年度チャンピオンによるワンマンライブを開催

日　時：7 月 15 日（日）17 時～19 時
会　場：久留米シティプラザＣボックス
出　演：土谷真生（筑後市／高校 2 年生）
入場者：137 人

公２―Ⅲ 情報センター友の会事業

１．情報誌の発行・ホームページ・フェイスブックの運営

情報誌「みどりのリズム」毎月発行　12,000 部

２．友の会事業

久留米市美術館年間フリーパス等の特典を取り入れた新たな友の会制度としてリニューアルし、2 年目となりました。

（１）会員の状況

区　　分	新規	継続	合　　計（前年度）
ミュージアム会員	125 人	274 人	399 人（343 人）
スタンダード会員	30 人	128 人	158 人（161 人）
合　　計	155 人	402 人	557 人（504 人）

（２）友の会会員事業

事 業 名	開催日･会場･料金	参加者数
芸術鑑賞の旅 2018（日帰り編） ～広島～ 旅行主催：西鉄旅行㈱	9 月 5 日（水） ひろしま美術館、ウッドワン美術館 参加費 29,800 円	26 人
芸術鑑賞の旅 2018（宿泊編） ～山梨・箱根～ 旅行主催：西鉄旅行㈱	12 月 6 日（木）～8 日（土） 山梨県立美術館、岡田美術館ほか 参加費 114,900 円	34 人
楽しむ講座シリーズ		
岸田劉生と椿貞雄　展	5 月 18 日（金）	24 人
名画が奏でる 8 つのフーガ展	8 月 21 日（火）	32 人
長谷川利行　展	10 月 9 日（火）	43 人
ウィリアムモリスと英国の壁紙展	11 月 30 日（金）	38 人
	計	137 人
みゅ～ず雑学講座	8 月 7 日（火）	32 人

上記講座の会場はすべて石橋文化会館小ホール
料金：ミュージアム会員無料、スタンダード会員 500 円、一般 1,000 円

３．石橋文化センター情報サテライト開設

石橋文化センターや久留米市美術館、その他文化情報を発信する「石橋文化センター情報サテライト」を久留米シティプラザ２階総合受付前に開設し、2018 年 4 月 1 日に営業開始しました。

情報サテライトでは、情報発信の他、石橋文化センターや久留米シティプラザで開催するコンサートチケットも販売し、市民の利便性向上も図りました。

公３	美術館運営事業

久留米市の「新たな美術館の基本方針」に基づき、市民をはじめ多くの方々に親しまれる美術館となることを目指し、指定管理者として久留米市美術館の管理運営を行いました。

１．展覧会事業

本館２階にて企画展を４回、久留米市美術館コレクション展を１回開催。本館１階では、久留米市美術館で初めて絵本原画展を開催しました。

会 場	展 覧 会	会 期	一般料金	入館者数
本館 ２階	求道の画家 岸田劉生と椿貞雄	4 月 7 日(土) ～6 月 17 日(日) (63 日間)	1,000 円	17,586 人
	名画が奏でる８つのフーガ 青木・セザンヌ・ルノワール ブリヂストン美術館コレクション展 ※公益財団法人石橋財団特別助成	7 月 14 日(土) ～9 月 9 日(日) (52 日間)	1,000 円	19,408 人
	長谷川利行展	9 月 22 日(土) ～11 月 4 日(日) (38 日間)	1,000 円	9,269 人
	サンダーソンアーカイブ ウィリアム・モリスと英国の壁紙展	11 月 17 日(土) ～12 月 27 日(木) (36 日間)	1,000 円	19,516 人
	久留米市美術館のコレクション ing きょうも活動中	1 月 19 日(土) ～3 月 24 日(日) (57 日間)	500 円	9,513 人
本館 １階	ブラティスラヴァ世界絵本原画展 BIB で出会う絵本のいま	7 月 21 日(土) ～9 月 9 日(日) (45 日間)	800 円	10,593 人
			合 計	85,885 人 (291 日間)

２．石橋正二郎記念館の運営

「石橋正二郎記念館」の展示やガイドを通じ、寄贈者の足跡や文化センターの歴史等を市民に紹介しました。新たに子ども向けの取り組みとして、クイズシートを用意し、回答者の記念品として３種類の缶バッジを用意しました。また、小中学生の団体向けの紙芝居パネルを制作し見学の際に活用しました。

さらに、石橋コレクションの中から下記テーマに添った作品や資料を展示しました。

期	展示テーマ	会　　期
第５期	石橋正二郎と石橋文化センター	4 月 7 日（土）～7 月 8 日（日）
第６期	石橋正二郎と画家の滞欧作	7 月 14 日（土）～9 月 9 日（日）
第７期	画家たちへの支援	9 月 11 日（火）～12 月 27 日（木）
第８期	洋画と日本画	1 月 4 日（金）～3 月 31 日（日）

入館者数合計　28,665 人（開館日数 302 日）

３．調査研究事業

（１）作品収集、保存・修復のための調査研究

・久留米市美術品収集委員会で審議する候補作品の選定

「久留米市美術品収集方針」に沿った作品を収集候補作品リストとして久留米市に提出しました。久留米市美術品収集委員会での審議を経て購入及び寄贈受入が決定した作品は、写真撮影や現状調査を行い、画面および額の修復、改善が必要なものは、修復を行った後、収蔵庫に保管しました。

・展示環境の管理

国指定重要文化財の展示もあったことから、美術館の展示環境に問題がないよう、空調や温湿度等の管理を徹底しました。

（２）作家・作品及び展覧会企画のための調査研究

今年度の６つの展覧会において、取り上げる作家・作品について調査研究し、その成果は、展示や図録等で発表しました。また、次年度以降の展覧会企画について、調査研究を行いました。

４．教育普及事業

（１）展覧会に関する美術講座等の開催

①展覧会関連美術講座

講座名		開催日	参加者数
1	愛情の画家　椿貞雄	4 月 14 日（土）	64 人
2	劉生から見た椿貞雄	6 月 2 日（土）	67 人
3	日仏美術交遊録−モーリス・ドニと梅原龍三郎を中心に	7 月 28 日（土）	56 人
4	絵本の冒険　BIB で出会う絵本のいま	8 月 19 日（日）	70 人
5	カイユボットと印象派の画家たち	8 月 25 日（土）	100 人
6	描くこと、生きること	10 月 13 日（土）	74 人
7	利行が歩いた東京　帝都復興の時代	10 月 27 日（土）	60 人
8	ウィリアム・モリスの壁紙の世界	12 月 1 日（土）	118 人
9	美術対話 「自然が生み出すデザイン」	12 月 22 日（土）	160 人
10	ミニレクチャー「きょうも準備中」	2 月 9 日（土）	50 人
		合計（10 回）	819 人

②展覧会関連ワークショップ等

事業名		開催日	参加者数
1	フーガ展関連ワークショップ 「次はどーなる！？アニメで作ろう☆絵のつづき」	7 月 29 日（日）	15 人
2	ブラティスラヴァ展関連ワークショップ 「ジミンさんとつくろう、自画像の飛び出す絵本」	8 月 18 日（土）	27 人
3	ブラティスラヴァ展関連イベント 「tupera tupera　絵本ライブ」	9 月 9 日（日）	133 人
4	ブラティスラヴァ展関連イベント 「美術館で絵本のじかん」 ※図書館ボランティアによる絵本読み聞かせ	7 月 25 日（水）	21 人
		8 月 1 日（水）	41 人
		8 月 8 日（水）	19 人
		8 月 22 日（水）	27 人
5	ウィリアム・モリス展関連ワークショップ 「活版印刷でメッセージカード作り」	12 月 8 日（土）	50 人
6	コレクション ing 展関連ワークショップ 「ing 展バッグをつくろう」	2 月 23 日（土）	28 人
		3 月 16 日（土）	37 人
		合計（6 事業 10 回）	398 人

（２）美術館ボランティア活動

2018 年度ボランティア登録者数　36 人（前年度 39 人）

①美術館ボランティア研修

日程		内　容
1	6 月 16 日（土）	名画が奏でる 8 つのフーガ展・BIB 展概要研修
2	9 月 1 日（土）	長谷川利行展概要研修
3	10 月 20 日（土）	ウィリアム・モリス展の概要研修
4	12 月 15 日（土）	コレクション ing 展の概要研修
5	3 月 9 日（土）	坂本繁二郎展概要研修／ボランティア修了式

②ギャラリートーク　　65 回　参加者 1,580 人

③坂本繁二郎旧アトリエ公開　10 日間　入場者数 2,378 人　トーク参加者 448 人

（３）学校団体見学等（大学生以下）

区分	件数	入館者数（人）
小学校	8 件	363 人
中学校	27 件	2,620 人
高校等	12 件	656 人
大学等	4 件	163 人
その他	3 件	62 人
合　計	54 件	3,864 人

※入館者数には引率者を含む

５．美術館管理事業

・作品鑑賞にふさわしい空間のための建物、空調設備などの維持管理

・1 階展示室貸与事業

久留米市総合美術展など 33 件、延べ貸出日数 233 日、入場者数 52,498 人

６．広報マーケティング事業

美術館及び美術館活動に関する情報発信

・ポスター、チラシ等印刷物や広報くるめ、みどりのリズム等情報誌、ホームページ、フェイスブック等 Web 媒体等による情報発信

・マスメディア等による展覧会広報

・バラフェアや春の花まつりなど園内事業と連携した広告掲出

・ウィリアム・モリス展での地元デパートとの連携や地元出身デザイナーによる新聞エッセイ掲載など

７．美術館ショップ事業

・展覧会の図録、関連書籍、画材、文具等の販売

・絵はがきや作品を配したオリジナル商品の販売

・ウィリアム・モリス展でのカフェ＆ギャラリーショップ楽水亭との連携

８．協賛制度

当財団が行う事業への支援と石橋文化センター及び久留米市美術館の利用者拡大を図る目的で多くの企業、団体から協賛を募りました。

協賛金は、「石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動」の取り組みである、「ミュージアムコンサート」や「アートフェスティバル」等の実施に活用しました。

区　　分	企業・団体数
スペシャルパートナー	1 件
オフィシャルパートナー	3 件
キャンパスパートナー	1 件
一般協賛	46 件

≪収益事業≫

収１	ホール運営事業及び会場利用者サービス事業

石橋文化ホール・文化会館並びに共同ホールの施設貸与において、看板、花、ピアノ調律などを受注し、利用者サービスに努めました。

収２	売店・喫茶事業

公共施設の中にある店舗であることを念頭に置き、収益の確保に努めるとともに、市民が利用しやすいメニュー構成や価格設定にも配慮しました。
また、研修等を通じ、利用者に対するサービス向上に一層努めました。

１．カフェ＆ギャラリーショップ楽水亭
新たな美術館との連携を強化し、展覧会にちなんだカフェメニューの提供等を行い利用者の拡大を図りました。

２．喫茶玖留見（久留米市庁舎２階）
リピーター確保のため、月替わりのランチメニュー等に取り組みました。

収３	久留米市等公共団体からのイベント受託事業

当財団の有するノウハウを発揮し、久留米市から式典等の事業を受託しました。
主な受託事業
・一般県道藤山国分一丁田線　鑓水バイパス開通式　（式典は 3 月 10 日（日））

収４	久留米市の公共施設の管理運営事業

１．久留米市勤労青少年ホーム
2019 年 4 月から生涯学習施設に目的変更され、「久留米市野中生涯学習センター」に名称変更されることから、久留米市担当部局と協力しながら利用者への説明を行うとともに、看板、印刷物、ホームページ等の修正にあたりました。
（１）施設貸与状況

	利用可能日数（日）	利用率（%）	利用者数（人）	内　訳（人）	
当年度	323	65.9	55,541	勤青利用者数	6,549
				一般利用者数	48,992
前年度	322	59.2	59,464	勤青利用者数	4,133
				一般利用者数	55,331

（２）自主事業の実施状況　（　）内は前年度
①健康余暇活動　4 本 10 回　延べ 148 人（5 本　15 回　延べ 301 人）
②就業支援事業　3 本 12 回　延べ 100 人（2 本　8 回　延べ 88 人）
③地域交流事業　3 本 1,059 人（3 本　1,164 人）

２．久留米市民交流センター（久留米市庁舎内）

2019 年度から 5 年間の新たな指定管理期間の指定管理者の公募に応募し、選考の結果、引き続き指定管理者として選定されました。

（１）施設貸与状況

	利用可能日数（日）	利用（%）	利用者数（人）
当年度	345	62.7	77,678
前年度	347	72.7	80,363

（２）自主事業の実施状況

ランチタイムコンサート１回、ダンスフェスティバル１回

収５	駐車場管理運営事業

美術館を含む石橋文化センター全体の利用情報を共有化し、観光バスを含む駐車場混雑状況を事前に把握することで、警備員の増員などの混雑防止対策を講じながら、さらには、石橋文化センターホームページ及びフェイスブックに混雑予測を掲出するなど、利用者サービス向上を図りました。

また、第 2 駐車場の老朽化したフェンスとブロックの撤去、改修を行いました。

《事務局事業》

１．石橋正二郎名誉市民顕彰会

世の人々の幸福と郷土の発展を願った石橋正二郎名誉市民の理念を広く伝え、これからのまちづくりを進めるために顕彰事業を実施しました。

（１）会員の状況

2018 年度会員　個人 130 人（138 口）　　法人 70 社（70 口）

（２）事業実施状況

①墓前祭

2018 年 9 月 12 日（水）千栄禅寺　100 人

②久留米大学見学会

2018 年 10 月 11 日（木）29 人

③久留米市美術館 講演と展覧会見学

2019 年 2 月 1 日（金）34 人

２．青木繁記念大賞ビエンナーレ（第 6 回展・準備年度）

第 6 回展（ビエンナーレ方式（隔年）開催）へ向け、募集要項の配布、ホームページでの情報発信等、作品募集のＰＲに努めました。

Ⅲ　処務の概況

１.役員に関する事項

2019 年 3 月 31 日現在

役 員	氏名	就任年月日	担当職務	現職
評議員	橋本　安彦	2011. 4.　1		久留米商工会議所副会頭
	木村　清吾	2013.　6. 20		久留米連合文化会会長
	絹笠　順一	2011.　4.　1		久留米文化推進協議会会長
	甲斐田　義弘	2015.　6. 23		久留米市議会議員
	緒方　正子	2017.　6. 29		久留米市議会議員
	権藤　智喜	2015.　6. 23		久留米市議会議員
	中島　年隆	2018.　8.　1		久留米市副市長
	大津　秀明	2017.　6. 29		久留米市教育長
理事	楢原　利則	2013.　6. 20	理事長	久留米市美術館館長
	永田　見生	2017.　3.　1	副理事長	久留米大学理事長
	本村　康人	2013.　6. 20		久留米商工会議所会頭
	西嶋　大二	2015.　6. 23		公益財団法人石橋財団常務理事
	龍頭　宏典	2013.　6. 20		旭ゴルフ株式会社取締役社長
	田中　多門	2015.　6. 23		久留米市議会議員
	森　多三郎	2017.　6. 29		久留米市議会議員
	森山　純郎	2016.　4.　1	常務理事	
監　事	土屋　尚之	2016.　4.　1		久留米市会計管理者

２．会議に関する事項

区分	年月日	議事事項	会議の結果
第１回 定例理事会	2018 年 6 月 8 日	第 1 号議案　2017 年度 事業報告並びに決算について 第 2 号議案　2018 年度 定時評議員会の招集について	原案承認可決 原案承認可決
定時 評議員会	2018 年 6 月 28 日	第 1 号議案　2017 年度 事業報告並びに決算について 第 2 号議案　役員等の報酬及び費用弁償等に関する規定の改正について	原案承認可決 原案承認可決
臨時 理事会 （みなし決議）	2018 年 7 月 13 日	第 1 号議案　評議員会の招集について 第 2 号議案　2018 年度予算の補正について	原案承認可決 原案承認可決
臨時 評議員会 （みなし決議）	2018 年 8 月 1 日	第 1 号議案　評議員の選任について	原案承認可決
第 2 回 定例理事会	2019 年 3 月 26 日	第 1 号議案　2019 年度事業計画並びに予算について 第 2 号議案　評議員会の招集について	原案承認可決 原案承認可決

３．許可・認可・承認に関する事項

なし

４．庶務に関する事項

年月日	項目	摘要
2018 年 5 月 20 日	福岡県（電子申請）	公益目的事業及び収益事業の内容変更の届出（久留米シティプラザ情報サテライト開設による変更）
2018 年 6 月 29 日	福岡県（電子申請）	2017 年度事業報告等の提出
2018 年 8 月 10 日	法務局へ登記	評議員 1 名辞任、評議員 1 名就任
2018 年 8 月 29 日	福岡県（電子申請）	役員変更の届出
2019 年 2 月 20 日	法務局へ登記	評議員 1 名、監事 1 名就任
2019 年 3 月 22 日	福岡県（電子申請）	役員変更の届出
2019 年 3 月 27 日	福岡県（電子申請）	2019 年度事業計画書等の提出

５．組織に関する事項

（2019 年 3 月 31 日現在）

	一般職員	嘱託職員	市職員（派遣）
総務課	5	2	－
施設課	7	－	－
企画営業課	7	1	－
美術館総務課	3	－	－
学芸課	3	1	1
合　計	25	4	1

Ⅳ　附属明細書

２０１８年度の事業報告の附属明細書について、事業報告の内容を補足すべき重要な事項は存在しない。